

童謡



私たちの会では、親子の会話やふれあいに希薄になったと言われる現在、日本人の心の歌、歌の原点でもある「童謡」を守り歌い続け童謡のもつ詩情を共に歌うことにより家族間、友人間そして子供達同士の温かい人間形成の感動と希望を呼び起こして行くことを信条として日々活動を続けて参りました。

家族の絆を、また一つ無くすことではないかと思えます。「童謡」のもつ良さを発信し、童謡の大きな輪を形にして行き、日本の童謡普及及保存運動を広げ、年配の方々には生涯学習の一環とし、子供達には情操教育の手立てと親から子へ伝えられてきた名曲の情景や作詞家、作曲家について今後更なる研究し伝えていきたいと思えます。

日本童謡の会下関支部

浜 美由紀

童謡をみんなで歌い、落語（江戸）を聞く会

～三世代で童謡を歌い、江戸時代の文化（粋）である落語を聞く。～



落語は、江戸時代の日本で成立し、現在まで伝承されている伝統的な話芸の一種である。触れる事の少ない現在において近くにお話していただける人と巡り合いました。先達が築いてきた文化を継承する事も立派なSDGzであります。

江戸時代から続く話芸（江戸時代の粋）を楽しんでください。

菊 亭 山 葵

（きくていわさび）

プロフィール

本名 首藤 憲二（すとうけんじ） 62歳

障害支援事業所・所長

落語好きが高じて14年前に聴く方から喋る方へ。間抜けな人、せつかちな人、乱暴な人、お人好し……。落語に住まう愉快な面々と遊んでいます。

主な活動

『ぎんなん落語の会』代表

『朝日カルチャーセンター北九州』講師

北九州市を中心に活動。

市民センターで『落語で考える人権講座』の依頼を受けている。

地元下関での活動の場を探しています。

その他 『歴史体感☆紙芝居』

『バナナの叩き売り』

午後二時より三〇分程度

童謡を皆様とご一緒に

歌います

五分休憩後

落語を三〇分程度聞いて

楽しんでいただきます

- 第1回 令和6年8月12日(月)・祝日 午後2時より
生涯学習プラザ 小ホール
- 第2回 令和6年11月24日(日) 午後2時より
赤間神宮 龍宮殿
- 第3回 令和7年1月13日(月)・祝日 午後2時より
生涯学習プラザ 小ホール
- 第4回 令和7年3月20日(木)・祝日 午後2時より
赤間神宮 龍宮殿

参加費無料



参加申込QRコードです。登録して頂きましたら助かります。先着100名様には、プログラムを準備いたします。

主催 中東地区まちづくり協議会

お問合せ：
中東地区まちづくり協議会
TEL&FAX083-250-8380